

「愛国心」

1月25日、仕事場で同僚に「Happy Australia Day」と言われ、握手を求められました。夕方、やんちゃしているオージーの友だちからも、携帯で「Happy Australia Day」というメッセージが届きました。

「Happy New Year」の意味からなら、「Happy Australia Day」は「おめでとう、オーストラリア・デー」となるのでしょうか。ちなみに、1月26日のAustralia Dayはイギリス人が入植した日ということで、平たく言うと建国記念日といった意味があるようです。もしそうならば、職場の同僚や、やんちゃな友人は「建国おめでとう」と言ってきたことになりそうです。

実際にこの日は、国民の祝日で、国旗があちらこちらに揚がり、各地でイベントが催され、夜は花火が上がって、国民みんなは『国家統一』を祝っています。この『国家統一』は、言うなら『愛国心』無しではできないことだと思いますが、日本の2月11日の「建国記念の日」で、誰が「建国おめでとう」と言って、握手をしたりしているのでしょうか…。

ならば、『愛国心』が弱いため、日本人は「建国おめでとう」といつて「建国記念の日」を祝うことができないのか…。

しかも、日本の「建国記念の日」は、建国した日が2月11日というわけではなく、法的に「建国をしのび、国を愛する心を養う」ための日として設けられているようですが、日本のその「建国記念の日」で“国を愛する心を養って”いる人は、どれだけののでしょうか…。

日本とオーストラリアでは、歴史が違うので「建国おめでとう」も、そもそもの意味合いが変わってくることは理解しています。でも、『国家統一』を今の日本人たちは祝うことができるのか、と言えばこれはかなり疑問です。『国家統一』は、やはり『愛国心』に支えられている部分が大いだと思うので、日本人がもつその『愛国心』の有無や強弱について考えさせられます。

オーストラリアに来て3年が経ち、最近、自分が生まれた日本についてよく考えます。それは『愛国心』が芽生えたからなのか、それともただ単に恋しさ余ってのことなのか。『愛国心』とか難しい言葉を使うと、『右翼』だの、『左翼』だの、『日教組』だの、といったことまで考えてしまいますので、ここではやめておきます。

自分なりに『愛国心』というものを、こんな風に解釈しています。両親や兄弟、恋人、旦那や妻、子どもや家族を大切に思う気持ち、それが『愛国心』なんじゃないか、と。その気持ちが、いずれ『愛国心』と言われるものになるんじゃないか、と思っています。

<投稿者>匿名希望 28歳 男性



「ユル〜くて、だ〜いすき」

最初、オーストラリアに来て、ビックリ！レジに行って、店員が「これ、いくらだった？」って聞いてくるんだもの。ピョットしても、値段がレジに出てこなかったんでしょうね。でも、10ドルなのに、私が「5ドルです」と言ったら、5ドルになっちゃうのかしら？

この間も、ニュース・エージェンシーでたばこを買ったんだけど、20セント足りなかったら、店員が「いいよ」だって。おまけしてくれた！

それと、おつりの渡し方も、可愛いわよね。10ドルの買い物をしたとして、50ドルを渡した時、品物の10ドルと20ドル札の2枚を足して、「はい50ドル」と言っておつりしてくれるの！50ドル引く10ドルで、40ドルじゃないのよね。足し算なの。もしかして、引き算が弱い？足し算で慎重にしているのかもしれないけど、結構な確立で、その計算も間違っているのも、笑えるわ。

大きなスーパーで、2個で30ドルという特売をしていたんだけど。確かに1個だと16ドルだったから2個で買えば2ドルお得なのは分かる。でも、その特売品の1個の容量が1kgと、サイズ違いの2kgのものがあって、そちらの2kgのものは28ドル。いくら特売で1kgのものを売ろうとしても、みんな2kgの方を買うでしょう？！

<投稿者> LOVE 29歳



「離婚」

“自分たちに限って”と思っていたのですが、去年の暮れ、オージーの旦那と別れました。理由は、私が彼に我慢ができなかったからです。

付き合い、結婚した頃は、彼は優しく、何でも手を貸してくれました。まめで、よく気がつき、思いやりがありました。でも、徐々に手数が減り、人任せの部分が増えて、明らかに甘えと思えることが多くなってきたからです。

私は「なんで分かってくれないの？」って口癖のように言っていました。彼は「言ってくれなきゃ、分からない」と言い返してきました。でも、私は「言わなくても分かるでしょう」と言い、最後は「言っても分かってくれない」と言っていました。今回の離婚で、「分かってもらおう、なんて考えない」ということを学びました。

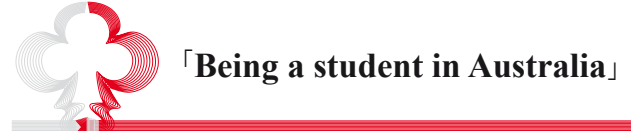
<投稿者>匿名希望 38歳 女性



「駐在と永住」

駐在でこっちに来て、会社を辞めて、永住権を取りました。駐在も永住もどっちも経験しています。一言、なんで、駐在員と永住者とは、うまくお付き合いができないのか？理由はただ1つ、お互いのねたみでしょう。『有名企業＝エリート＝海外勤務＝高収入』と、『海外生活＝移住＝自由＝自立』いった構図の中でのねたみは、「どんぐりの背比べ」。どっちも、どっちでしょうね。

<投稿者>匿名希望 45歳 男性



「Being a student in Australia」

8th February 2012; I still remember the night was chilly and windy; my first day in Perth, Australia, and I was here for my higher education. I had mixed feelings that day; I was excited yet confused, but on the whole I was confident about me and my parents' decision to let me study here in Perth. My name is Shazib Adnan and I am from Pakistan. I am studying Master of Professional Accounting in Murdoch University.

As an international student, at first I had certain difficulties in adjusting in a completely new environment but gradually and steadily as the time passed by I made friends and memories that I will cherish for my entire life. Teachers over here are very supportive, and I must admit that the support and encouragement I got over here were appreciable. Overall the education system over here in Australia is very good and with the support of teachers, friends and the fellow students in the class, I now sailed through my first year over here in the university without any hesitation. The university life is as amazing as it can get and I met many new people over here from every walk of life which helped me to know about different cultures and mindsets.

Living over here wasn't as tough as I initially thought, or may be my friends and my flat mates made it easier for me. I like quiet places and Perth certainly gave me that. It's a peaceful city to live in with many growth opportunities. People over here care for each other and I like being here in Perth. The only problem that I am facing over here as an international student is the Food. I miss the traditional food that I used to eat back home. Time restraints won't let me cook and to be honest I am also not an experienced cook but with the practice and more time I think I will be able to master it also.

I am now in my second year in Murdoch University and I am very happy to be studying over here. I would like to thank all my teachers and friends who made me adjustable to this new and completely different environment. I wish and hope this year will be more successful and full of positive happenings for me as an international student.

<投稿者> Shazib Adnan 24歳 男性



「やる」

決めた！できないからここに投稿して、自分を追い詰める。英語の勉強中は、エロサイトを見ない。オナニーもしない。「何時からやろう」と先延ばししない。食べながらやらない。音楽も聴きながらやらない。言い訳しない！

<投稿者>藤原(実名です) 23歳 男性



「日本は限界」

高級車にも興味ないし、高級腕時計なんか全然興味ない。家だって別に欲しいとも思わないし、海外旅行だって行きたくない。仕事も別に有名企業に入りたいとも思わないし、会社で偉くなりたいとも思わない。

彼女も別に欲しくない。正直、たまに人肌恋しい時もあるけど、セックスは面倒なので、風俗で済ませます。寝てればいいし。食事コンビで十分。だって、コンビのご飯は、めっちゃ美味しいもん。高級レストランにも興味ない。第一、そんなにお金を払ったって、価値があるとは思えないし。

ギャンブルも興味ゼロ。あんなの負けるに決まってる。煙草もおいしくないし、お酒だって、飲めば気が大きくなるだけで、良いことなし。

ネット環境とパソコンがあれば今は満足。今の興味は、TwitterとFacebookかな。

これを読んで、「最近の若者は」とか言われるんだろうけど、もう聞き飽きた。だって、そういう社会を作ったのが、「最近の若者は」とか言っているおっさんたちでしょ。一生懸命働いたってお金なんか貯まらない今の日本は、もう限界だね。

<投稿者> IT 21歳 男性